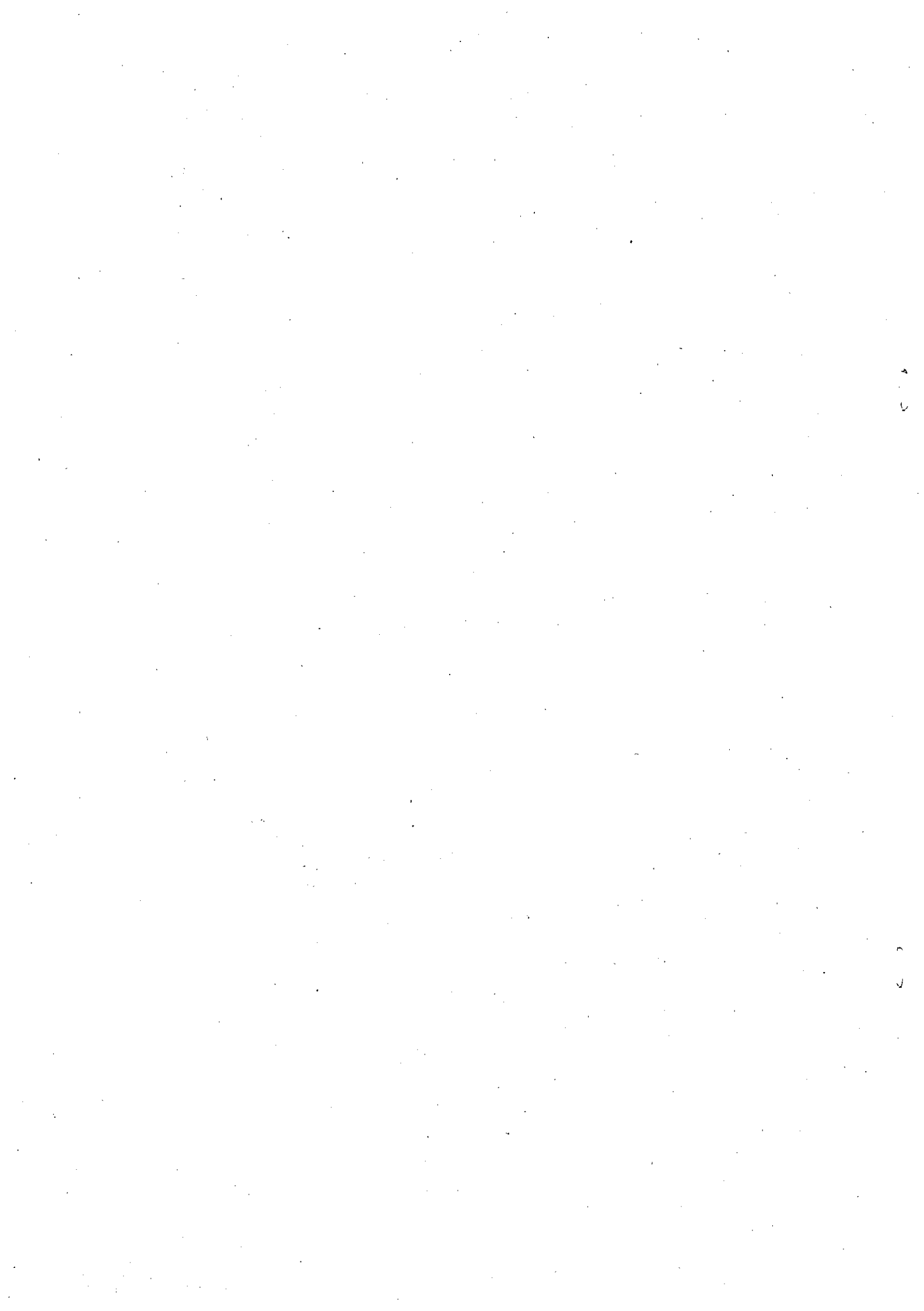


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年2月16日)

- 1 移住相談会の開催結果について 【とっとり暮らし支援課】・・・1ページ
- 2 『Tastes of JAPAN by ANA TOTTORI』について 【交通政策課】・・・2ページ
- 3 『これは事件だ!?!』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて
【交通政策課】・・・3ページ
- 4 平成27年度鳥取環境大学入学試験の志願状況について
【教育・学術振興課】・・・別冊
- 5 鳥取県日野地区連携・共同協議会の取組状況について
【日野振興センター】・・・4ページ

地 域 振 興 部



移住相談会の開催結果について

平成27年2月16日
とっとり暮らし支援課

東京及び大阪で開催した今年度それぞれ2回目となる移住相談会では、165組の県外在住者にご来場いただき、本県への移住に関心のある方々で賑わいました。

1 概要

	東京	大阪
期 日	平成27年1月31日(土)	平成27年1月24日(土)
場 所	とっとり・おかやま新橋館(新橋)	難波御堂筋ホール(難波)
概 要	<p>○移住相談会</p> <p>8市町、県関係課等の相談ブース(子育て、就職、農林水産業就業、起業等)を設置し、各ブースにおいて、移住相談に対応した。</p> <p>※20団体が参加。</p> <p>※とっとり暮らしアドバイザー(先輩移住者)8名参加。</p> <p>○とっとり暮らしセミナー</p> <p>子育て、しごとをテーマにしたワークショップを実施した。</p>	<p>○移住相談会</p> <p>14市町、県関係課等の相談ブース(子育て、就職、農林水産業就業、起業等)を設置し、各ブースにおいて、移住相談に対応した。</p> <p>※23団体が参加。</p> <p>※とっとり暮らしアドバイザー(先輩移住者)8名参加。</p> <p>○とっとり暮らしセミナー</p> <p>参加団体によるプレゼンテーションを実施した。</p>
来場者数	77組(前回:79組)※20~40代が大半。	88組(前回:66組)※20~40代が大半。

2 主な相談内容

住まい、仕事、子育て支援制度のほか、交通事情、気候、自然環境(温泉、海、山、森のようちえんなど)などの相談がみられた。

<主な来場者の声>

○東京会場

- ・子どもを森のようちえんに通園させるため、智頭町に移住したいと考えている。4月の入園に間に合うよう、体験に行きたい。(30歳代夫婦、子)
- ・昨年7月の相談会に参加し、鳥取市に移住したいと考えるようになった。その思いを強くしたので、エアサポートを活用して近いうちに体験に行きたい。(40代夫婦、子)
- ・独り暮らしの祖母の世話をするために鳥取市にIターンしたい。就職先を探している。(20代男性)
- ・結婚を機に米子市にUターンしたいと考えている。就職先を探している。(30代男女)
- ・災害の少ない山陰地方にIターンしたい。大山町や琴浦町が候補地。(40代男性)
- ・学校等の教育環境についても知りたい。(複数の女性)

○大阪会場

- ・20歳代の子どもが米子市で2月から働く予定であり、移住して一家で住みたいと考えている。本日、南部町内の空き家物件を紹介してもらい、ほぼ移住を決めた。さっそく来週末に現地確認に行く予定。(20歳代と40歳代の親子)
- ・鳥取市に移住し、カフェを運営することを検討している。空き店舗物件が見つかったので、具体的な準備を進めていきたい。(30歳代男性)
- ・自然環境の中で農業や子育てをやるために、智頭町に移住を考えており、智頭町のお試し住宅に滞在したこともある。本日の相談会に参加し、移住したいという気持ちがさらに強くなった。(30歳代夫婦、子)
- ・鳥取県を訪問し気に入ったので、移住を考えるようになった。まずは、お試し住宅を使ってとっとり暮らしを体験したい。お試し住宅のある鳥取市、岩美町、若桜町、米子市が候補地。仕事が見つければ早めに移住したい。(60歳代夫婦)



3 今後の対応

- 来場者に対して、移住相談員によるフォローアップを行い、本県への移住を促す。
- 情報発信や相談体制を強化するなど、移住定住に関する取組の充実を図る。

『Tastes of JAPAN by ANA TOTTORI』について

平成27年2月16日
交 通 政 策 課

ANAグループが日本各地の多様な魅力を機内や空港ラウンジで紹介する「Tastes of JAPAN by ANA」プロジェクトにおいて、本年3月から5月までの3ヶ月間「鳥取県」が特集されることが決定しました。

1 Tastes of JAPAN by ANA (TOJ) の概要

ANAグループが日本各地の食、酒、スイーツなどの特産品をANAグループのサービス（機内、空港ラウンジ、空港店舗、通販サイト等）に集中的に取り入れるほか、地域の文化、観光資源などの魅力を全国や海外のお客様に幅広く紹介し、訪日旅客の増加と地域活性化に貢献していくものです。全国の3都道府県を1グループとして各グループごとに3ヶ月間実施します。

鳥取県は第7弾として本年3月から5月までの3ヶ月間に大阪府、福島県とともに特集されます。

<取り上げられる商品例>

郷土料理の「いただき」、「紅ずわい蟹甲羅焼き」、「鳥取和牛」など

2 共同記者発表会の概要

(1) 日 時 平成27年2月24日(火) 15:30~16:30

(2) 場 所 鳥取県知事公邸 第1応接室

(3) 主 催 全日本空輸株式会社(ANA)、鳥取県

(4) 出席者

<主催者> 志岐隆史氏(ANA取締役執行役員)、新居勇子氏(ANA執行役員大阪支店長)、
松岡弘晃氏(ANA山陰支店長)
平井知事

<来賓> 中島 守氏(鳥取県観光連盟会長)、藤縄匡伸氏(鳥取空港の利用を促進する懇話会会長)、坂口清太郎氏(米子空港利用促進懇話会会長)、小谷 寛氏(鳥取県物産協会会長)

<特別ゲスト> 辻本 舞氏(ANA鳥取美人物語イメージモデル)

『これは事件だ?!』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて

平成27年2月16日
まんが王国官房
交通政策課
観光戦略課
空港港湾課

昨年11月に愛称が決まった鳥取砂丘コナン空港のオープニングセレモニーを次のとおり実施します。

1 オープニングセレモニーについて

(1) 第1部 記念式典

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時～1時30分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 主催 鳥取県、鳥取空港の利用を促進する懇話会
- エ 内容 鳥取県警察音楽隊オープニング演奏
主催者あいさつ
来賓祝辞
くす玉開披
記念撮影(参加者全員)

(2) 第2部 オープニングイベント

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時40分～2時20分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 内容 亜海れい子ミニコンサート
ファン向けイベント

2 関連行事について(いずれも3月1日(日)実施)

(1) 東京便到着者歓迎

- ア 到着時刻 12:00、14:45 到着便を予定
- イ 到着場所 空港ビル1階到着ロビー
- ウ 内容 到着ロビーにて到着者へ記念品(ボールペン、メインビジュアルチラシ・観光パンフ、缶バッジなど)を配布する。

(2) 空港連絡バス(ラッピングバス)乗客の見送り

- 12:00、14:45 到着便に合わせた空港連絡バス乗客の見送り
- ※3月1日から、空港連絡バスに鳥取砂丘コナン空港のロゴ・マーク、メインビジュアルを装飾する。(空港-鳥取駅間、空港-倉吉駅間を結ぶ連絡バス2台に装飾予定)

(3) オープニングセレモニー参加者対象記念ツアー

- ア 名探偵コナンに会えるまち北栄町満喫ツアー〔北栄町主催:募集人員90名〕
- イ 鳥取砂丘&マリニピア賀露満喫ツアー〔鳥取市主催:募集人員30名〕

(4) 鳥取砂丘コナン空港内覧会

- ターミナルビル制限区域を含む空港内装飾の内覧会を午前及び午後に数回実施する。

鳥取県日野地区連携・共同協議会の取組状況について

平成27年2月16日

日野振興センター

日野郡の区域における行政サービスの維持、向上や効率的な行政運営を促進することを目的として設置した「鳥取県日野地区連携・共同協議会」の取組状況について報告します。

1 平成26年度第2回協議会の開催状況

(日 時) 平成27年1月27日(火) 午前10時から11時5分まで

(場 所) 日野振興センター 大会議室

(出席者) 会長：景山日野町長、委員：平井鳥取県知事、増原日南町長、竹内江府町長

2 概 要

(1) 重点項目の検討状況

○重点項目「道路の維持管理・除雪」

・除雪機械運転手の確保・育成の在り方の検討

現在管内での除雪機械運転手約160名は、今後高齢化により大幅に減少が見込まれることから、検討を重ねた結果、今後実施すべき事項として、①除雪機械運転に関する機運醸成、②免許取得促進、③実践研修、④組織化検討及び⑤待遇等改善の分野を一体的に考えていくことが必要とし、3町及び県ともに平成27年度予算において、免許取得に要する助成を要求。

<予算要求内容>

・除雪機械の運転免許取得に要する教習料を町が助成する場合、県はその2分の1を町へ助成(取得者・町・県それぞれ1/3)。町の助成限度額：40万円。

・県の当初予算計上額：240万円(40万円×12名×1/2)

○重点項目「日野郡の教育の在り方」

・日野高校支援策の検討に係る支援

魅力向上コーディネーター活動に係る行政支援体制の整備のため、3町担当課連絡会を開催する。

・教育分野における共同の促進検討

日野郡の教育を考える「合同トップ会議」(町長・教育長・小中学校長等)を開催した。

(日時) 平成27年2月12日(木) 午前10時～11時30分

○重点項目「監査委員事務局の共同設置」

・日野郡における監査の在り方に係る検討

検討の結果、事務局の共同設置は監査機能の充実・強化に有効であるが、3町の監査状況・方針が異なるため現状での共同設置検討は困難であり、本年度限りで部会検討を終了する。(監査のレベルアップの取組は継続実施)

○重点項目「農地利用促進等」

・新たな取組課題として、道の駅等の直売所を活用した、地域の農産物・特産品による日野郡に人が来る仕組みづくりを検討する。

<参考> (江府町) 平成27年春開業予定『道の駅「奥大山」』

(日南町) 平成28年春頃開業予定『道の駅「にちなん(仮称)」』

(2) チーム事業の実施

・障がい者雇用チーム：障がい者支援事業所への作業委託・意見交換会の開催

・発達支援チーム：乳幼児の発達支援事業(個別相談、集団教室)の実施・保護者交流会等の開催

・消費者行政チーム：消費者相談窓口の開設・相談員による啓発

・庶務チーム：職員合同研修・共同情報発信 など

(3) 新たな協議会運営に向けた検討

5年にわたる協議会の実績、成果を踏まえ、日野郡圏域で「地方創生」の実現に向け、県と3町がスクラムを組み、戦略を立ててより柔軟にスピード感を持って日野郡地域を活性化するため、地方自治法に基づく「連携協約」制度を活用した新たな協議の場、運営体制への移行も含め検討しており、今後も継続して検討することとされた。